

3. やさしい育成技術

ブレーキング

躰と若馬の手入れ

軽種馬育成調教センター 技術普及課 齋藤 昭浩



教官

今回からBTCの研修で行っている競走馬の育成方法と研修生の指導方法や注意事項を踏まえ、研修生のケン君と一緒に若馬を育成して行きたいと思います。目指すは、「マナーの良い強い競走馬」です！頑張ろう、ケン君。



ケン

躰(しつけ)

教官：ケン君、馬を育成するにはまず、人馬の安全を確保するために必要な「躰」を馬に十分理解させることが大切です。ケガをしては元も子もないからね。

ケン：では、どのように馬を躰ければ良いのですか？

教官：馬を躰けるためには、馬という動物の習性を良く理解しておかなくてはなりません。

草食動物である馬は、新しい物事に関して非常に臆病で驚きやすいが、自分に危害を加えないことが理解出来れば、「慣れる」という特性を持つ。

常に群れを成し、リーダーの指示に従う高い従順性を持つ。

記憶力がとても良く、習慣性のある動物なので、良いことも悪いこともすぐに記憶する。

他にも色々ありますが、最低限この3つを理解しておくべきでしょう。後は、実際に躰をしていく中で馬の色々なサインを見落とさず進めて行きましょう。馬は話すことが出来ない代わりに、ボディランゲージで僕たちに問い掛けてくるよ！

ケン：ヨシ！わくわくしてきたぞ！教官、宜しくお願いします！

教官：こちらこそ宜しく。ケン君の今の気持ち「わくわくしてきたぞ！」はいつも忘れないで下さい。教える側が楽しくなければ、教わる側の馬はちっとも楽しくありませんからね！非常に大切なことです。

それでは、躰の第一歩である若馬(新馬)の手入れを

開始する前に、調教済みの馬を使って練習してみましよう¹。これが出来なければ先に進めませんよ。

ケン：教官、「馬の手入れ」は楽しいですね！何となく心が通じている感じがします。いつも、声をかけているため、最近は僕が馬房に近づくとハイジ(馬名)が呼ぶんです。プルププって！可愛くて牧草を少しあげちゃいました。

教官：それは凄い！ケン君とハイジは良い信頼関係を築いてきましたね。調教済みのハイジを卒業して次は、実際に若馬の手入れをしていきましょう。

まとめ

調教者は目的を持たず調教しようとしてはならない。

人がリーダーになることが大切。そのためには、動物心理を良く理解し、「良い」「悪い」のメリハリを分かりやすく行うこと。

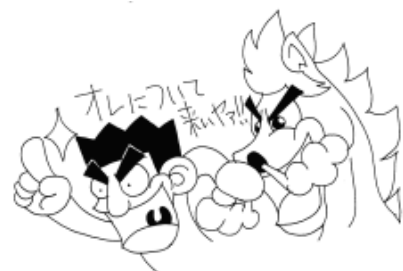
常に馬の体調を掌握し、愛し、忍耐強く接すること。

常に声をかけ、安心させること。

1日の終わりは「良」で終わること。

馬に対する要求限度を知っていること。

最終的には人の少しの合図で馬が最大限の行動をとることができれば、躰の完成です。



若馬の手入れ方法（馴致前未調教馬）

教官：馴致前の馬の手入れでは、馬体をきれいにする
ことより、健康状態をチェックするための検温や手入
れ道具に慣れさせ、馬体のどの部分に触ってもおとな
しくジッと駐立していることを目標に行いましょう。

ケン：はい！パルル(馬名)宜しくね！

教官：この作業は、人に対する従順さを養う大切な調
教です。後に行う馴致作業がスムーズに進むか否かは、
このステージでの手入れが十分に行えるかどうかがキ
ーポイントになってきます。

ケン：教官、教科書²を読んで事前に予習してきました。
色々な注意事項がありますけど、この方法で躡け
ていけば、人も馬も安全に安心して受け入れることが
できますね。

教官：そうですね！よく、「外国の馬は非常に大人しい」
と言うけども、この方法で躡ければ確実におとなしい
従順な馬を調教することができます。約10日間、2人
1組の作業になるけど、この期間はじっくり時間をか
けることで、マナーの良い馬の性格が形成されます。

ケン：そういえば、トレーニングのステージに入っ
ている馬でも手入れや馬装の時にチョコチョコ動いて時
間がかかったり、引き手を咬んでいたり、最後には人
にも咬んでしまうような扱い難い馬がいますね。

教官：そうですね。躡の悪い馬ほど嫌なものはありま
せんね。それから、人間と同様に、馬にも個性があり
ます。

ケン：パルルは、どんな個性の持ち主なのかな？

教官：パルルは何でも怖がるし、その反応動作が性質
の悪い馬と似ていることがありますが決して混同して
はいけません。良い点は伸ばし、悪い点はなるべく出
さないように気を付けます。良い気分を壊してしまっ
たり、悪い点を出させてしまうことは、人が早すぎる
過度の要求によることが大きいのです。



ケン：はい！馬は習慣性のある動物ということと思い
出しました。前の要求が残っているのに、次の要求を
してはいけないのですね。

教官：その通りです。常に反復練習です。急がないこ
とが結局調教の近道になるのです。

また、このステージでハ
ミ(ブレーキングビット)に
慣れさせておくと良いで
しょう。1日30分程度を
2~3日行えば十分です。



まとめ

馬には色々な経験をさせ慣れさせること。

人は馬のあらゆる部分を触っても許されるが、
馬が勝手に人を触ることは許さない。毅然とし
た態度をとること。

早すぎる過度の要求は行わないこと。

常に反復練習

馬具の紹介～ブレーキングビット～

枝つきブレーキングビット



ハミの馴致期に馬の口を柔軟にするよう舌遊び(キ
ー)が付いている。

舌遊び(キー)の効果は、馬が舌でキーと遊ぶことによ
って唾液が分泌されハミを受け入れ易くなり、舌越
にならない作用がある。BTCではこの枝付きブレーキ
ングビットを主に使用し成果を得ている。

枝無しノーマルブレーキングビットもあるが、枝つきの効果は、ハミ身が口の左右に抜けることが無く、真直性を保ちやすい。

は悪いが、結構、効果があります。でも、一回の使い切りに加えて丸馬場の掃除も大変ですので推奨はできません。(笑)

ストレートバーブレーキングビット



ハミ身が1本のブレーキングビット

ストレートバーの効果はハミ身が中折れしないため、挟み込みの効果が無く口に敏感な馬等に使用する。また、舌に対する圧迫が強く、口に等分に圧迫が加わるが綿密な操作が出来ない。

枝つきハミをブレーキングビットに改良したもの



アイルランドのJ・OXX ブレーキングファームでは、ハミ身の中央ジョイント部分に馬の尾を巻いて、舌遊びの役割を果たしたブレーキングビットを使用していました。お金をかけなくとも、その馬具の効用を知っていれば工夫できるものですね。

その他に、現地ではロンジングの際、追い鞭代わりに木の枝(葉付)を振り回し笑いながら馬を追っていました。その名も「サムライ」と言っていました。見栄え

アイルランドJ・OXX ブレーキングファーム研修での1コマ



おわりに

今回の「ケン君」とのやり取りは、実馬を使用した訓練中に実際にあった研修生との質問の受け答えを紹介しています。その中で、馬の習性や性質を知ることが非常に重要でありました。困難な状況に遭遇した場合でも、馬という動物を理解していればスムーズにクリアしてきました。皆様方に少しでもこの経験を活用していただければ幸いです。次号では、「曳き馬とロンジング」を少しレベルアップして紹介したいと思います。

脚注：

- 1：詳細はBTC ニュース 48号「きゅう舎での馬の手入れと世話」を参照下さい。
- 2：詳細はBTC ニュース 56号「1歳馬の馴致と人材養成 ～馴致前の手入れ～」を参照下さい。



イラスト：山本 智也

(日高大洋牧場勤務：BTC 養成研修第 18 期修了者)